

宗教と平和 第14回 (オンデマンド第7回)

## 平和と正義を実現するための課題

— 見えざる偶像崇拝、犠牲のシステム —

1

## Overview

1. 暴力とディスコース
2. 見えざる偶像崇拝
3. 犠牲の論理
4. 今回の課題

2

# 1

## 暴力とディスコース

3

戦争や暴力を防ぐために  
私たちに何かできるのか？



4

## ディスコースとリアルポリティーク

- ・排他的・敵対的ディスコース（言説）の蔓延は、暴力的・好戦的なリアルポリティークへとつながる。  
例：**反ユダヤ主義**とホロコースト、現代のSNS上の言説
- ・危機的な対立を回避するためには、敵対的ディスコースを抑制する必要がある。
- ・敵対的あるいは相互無関心な関係を変化させるために、**仲介者**が重要な役割を果たす場合がある。

5

## イスラモフォビアが映し出すもの

- ・イスラモフォビア (islamophobia、イスラーム嫌悪感情)
  - ・ゼノフォビア (xenophobia、外国人嫌い) の一種
- ・9.11以降、欧米を中心に広まる。日本では、顕著なイスラモフォビアは（今のところ）見られない。
- ・欧米における1960年代以降のムスリム移民の増加も関係。
- ・ポスト冷戦時代におけるイスラーム脅威論（共産主義に代わる外敵としてのイスラーム）→ ステレオタイプなイスラーム理解の増殖

6

## 日本社会における一神教をめぐるディスコース

- ・一神教（特にキリスト教）に対する恐怖と憧れ
  - ・**虚像**と実像の混在
- ・**異質なもの**に対する対応の歴史（16世紀以降）の中で
  - ・禁制以降、「切支丹」のイメージが貧困化し、虚像が増殖していく。

【参考】大橋<sup>ゆきひろ</sup>幸泰『潜伏キリシタン——江戸時代の禁教政策と民衆』講談社、2014年。

7

## 補助線としての「見えざる偶像崇拝」

- ・ヘブライ語聖書は、異教の神々への礼拝をアヴォーダー・ザーラー (Avodah Zarah) と呼び、目に見える偶像 (pesel) に限定していない。
- ・偶像：支配の象徴（例：古代世界における王）、人間の欲求（欲望）の投影と増殖。
- ・金・銀・石などで刻まれた偶像が担っていた象徴的力は「見えざる偶像」へと容易に転化される。

8

# 2

## 見えざる偶像崇拜

9

## 偶像崇拜の禁止

あなたはいかなる像も造ってはならない。上は天にあり、下は地にあり、また地の下の水の中にある、いかなるものの形も造ってはならない。あなたはそれらに向かってひれ伏したり、それらに仕えたりしてはならない。

(出エジプト記 20:4-5)

10

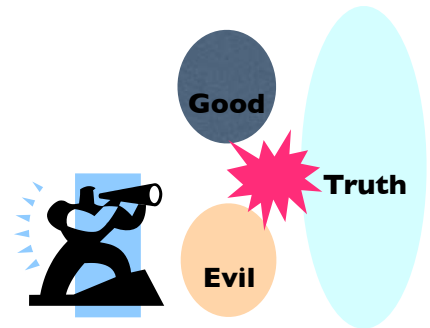
墮落して、自分のためにいかなる形の像も造ってはならない。男や女の形も、地上のいかなる獣の形も、空を飛ぶ翼のあるいかなる鳥の形も、地上を這ういかなる動物の形も、地下の海に住むいかなる魚の形も。また目を上げて天を仰ぎ、太陽、月、星といった天の万象を見て、これらに惑わされ、ひれ伏し仕えてはならない。それらは、あなたの神、主が天の下にいるすべての民に分け与えられたものである。しかし主はあなたたちを選び出し、鉄の炉であるエジプトから導き出し、今日のように御自分の嗣業の民とされた。

(申命記 4:16-20)

11

## リアルポリテイクにおける偶像崇拜

- ・ 現代世界においては、すべての出来事が視覚的なイメージに変換される。
- ・ ソーシャル・メディアがイメージ（偶像）の増殖を加速させる。
- ・ 作られた「偶像」は真実をあらわすより、むしろそれを隠す。



12

## リアルポリティークにおける偶像崇拜

- ・ 現代世界においては、すべての出来事が視覚的なイメージに変換される。
- ・ ソーシャル・メディアがイメージ（偶像）の増殖を加速させる。
- ・ 作られた「偶像」は真実をあらわすより、むしろそれを隠す。



13

## 議論の前提としての構造的暴力（復習）

- ・ 「ある人に対して影響力が行使された結果、その人が現実に肉体的、精神的に実現し得たものが、その人のもつ潜在的実現可能性を下回った場合、そこには暴力が存在する」（J.ガルトゥング『構造的暴力と平和』5頁）。
- ・ このような暴力を「**構造的暴力**」と呼び、それに対応する平和を「**積極的平和**」と呼ぶ。
- ・ 構造的暴力の例：独裁国家、絶対的な貧困状態、差別社会

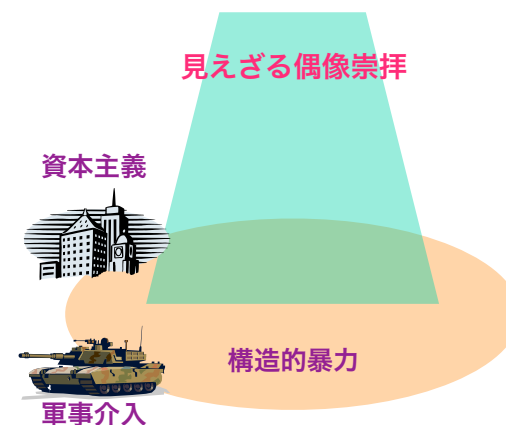
14

## 構造的暴力と直接的暴力



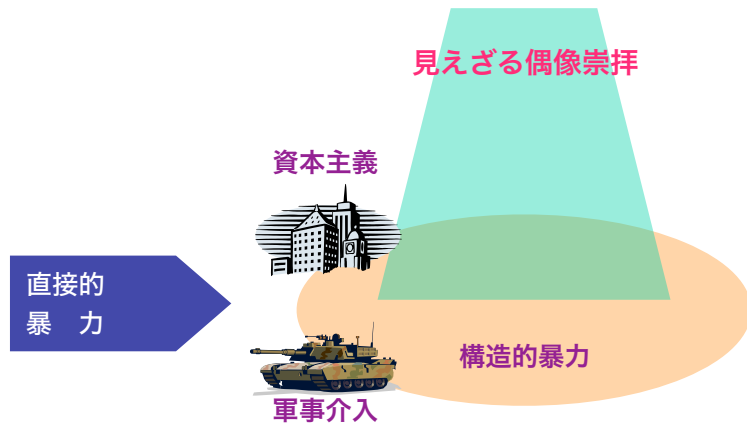
15

## 構造的暴力と直接的暴力



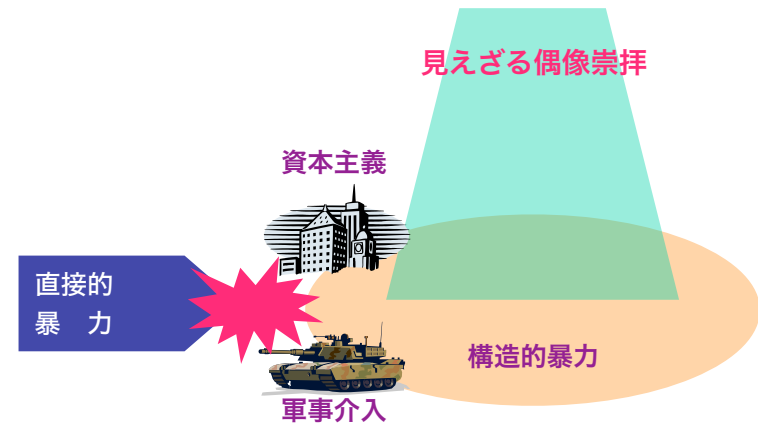
16

# 構造的暴力と直接的暴力



17

# 構造的暴力と直接的暴力



18

# 現代における偶像破壊 (iconoclasm)

## • バーミヤンの仏像破壊 (2001年3月12日)

-見える「偶像」として



## • The World Trade Center (2001年9月11日)

-資本主義の富と暴力を体現した「偶像」として



## • The Pentagon

-軍事力を体現した「偶像」として

19

# 現代における偶像破壊 (iconoclasm)

## • バーミヤンの仏像破壊 (2001年3月12日)

-見える「偶像」として



## • The World Trade Center (2001年9月11日)

-資本主義の富と暴力を体現した「偶像」として



## • The Pentagon

-軍事力を体現した「偶像」として

絶望と歓喜を引き起こす

20

## ま と め

- 排他的・敵対的なディスコースは、特定のイメージを拡散させ、**構造的暴力**となる危険性をもっている。
- 軍事的攻撃（**直接的暴力**）により「悪」を根絶することを目指すよりも、**構造的暴力**（→**見えざる偶像崇拝**）を認識し、それを抑制していかなければならない。

21

# 3

## 犠牲の論理

22

## 人類史における犠牲

- 人類史的な尺度から見ると、動物供犠<sup>くぎ</sup>を中心とする犠牲の祭儀（供犠）が「宗教」そのものであった。
- 日本、中国、朝鮮半島に事例について、原田信男『神と肉——日本の動物供犠』（平凡社、2014年）を参照。
- 動物供犠と動物供養の違い

23



カラヴァッジョ  
「イサクの犠牲」  
(ウフィッツィ美術館)

24

## イサク奉獻

神が命じられた場所に着くと、アブラハムはそこに祭壇を築き、薪を並べ、息子イサクを縛って祭壇の薪の上に載せた。そしてアブラハムは、手を伸ばして刃物を取り、息子を屠ろうとした。

そのとき、天から主の御使いが、「アブラハム、アブラハム」と呼びかけた。彼が、「はい」と答えると、御使いは言った。「その子に手を下すな。何もしてはならない。あなたが神を畏れる者であることが、今、分かったからだ。あなたは、自分の独り子である息子すら、わたしにささげることを惜しまなかった。」（創世記 22:9-12）

25

## 現代における「犠牲」の諸相

- 自己および他者を犠牲にする
- イスラーム過激派による自爆攻撃
- 戦争一般
- 他者に犠牲を強いる論理（→ スケープゴート）
- 反ユダヤ主義、イスラモフォビア
- 様々な差別、学校におけるいじめ

26

## 自己犠牲の論理

### — ナショナリズムと宗教 —

〔世俗的ナショナリズムと宗教は〕包括的な道德秩序の枠組み、すなわちそれに所属する人々に究極的な忠誠を命じる枠組みを与え、倫理的な機能を果たす。（中略）ナショナリズムと宗教がもつ、**殉教と暴力に道徳的許可を与える力**ほどに、明確に**忠誠**の共通様式が現れているものは、他のどこにも存在しない。

（マーク・ユルゲンスマイヤー『ナショナリズムの世俗性と宗教性』玉川大学出版部、1995年、28-29頁）

27

## 犠牲のパラドクス

- ある者（神）への**忠実**（自己犠牲）は、他の者（イサク）の犠牲をともなう。
- ある者（国家）への責任が他者（他国民）への無責任となる。他者に死を与える絶対的犠牲のパラドクスは、戦争において極大化する。（高橋哲哉『国家と犠牲』日本放送出版協会、2005年、230頁）
- 関連課題：絶対平和主義は有効か？
- 状況にかかわらず、この立場が貫かれるとすれば、もっとも無責任な態度となる可能性がある。他者の安全を尊重するようでありながら、他者の具体的な呼びかけには応えようとしないから。

28



## 交換の論理

- 殉国も殉教も、命を差し出すことが、模範的な自己犠牲として称賛（顕彰）される。
- 靖国神社における英霊の顕彰、カトリックにおける殉教者の列聖。ここには「交換の論理」が働いている。

29

## イエスの倫理

- 交換の論理を批判。勧善懲悪の否定。
- 「あなたがたも聞いているとおり、『隣人を愛し、敵を憎め』と命じられている。しかし、わたしは言うておく。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。あなたがたの天の父の子となるためである。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからである。」（マタイ5:43-45）
- ぶどう園の労働者のたとえ（マタイ20:1-16）

30

## イエスの倫理

- 徹底した個人倫理（集団倫理を批判）
- 見失った羊のたとえ（ルカ15:1-7）
- 犠牲の内面化（精神化・純化）
- 「もし、『わたしが求めるのは憐れみであって、いけにえではない』という言葉の意味を知っていれば、あなたたちは罪もない人たちをとがめなかったであろう。」（マタイ12:7）
- 殉教・殉国のない世界を暗示しているのでは？
- 【参考】新島襄「人ひとりは大切なり」（同志社創立10周年）

31

# 4

## 今回の課題

- 『一神教とは何か』第三章「3 偶像崇拝の禁止」と第五章「3 犠牲の論理」を読んでください。
- 「見えざる偶像崇拝」「犠牲の論理」という言葉を使って、戦争や暴力を抑止するために、あなたができると思うことを述べて下さい。

32